

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 10 月 12 日 (2006.10.12)

【公表番号】特表 2006-500443 (P2006-500443A)
 【公表日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-001
 【出願番号】特願 2004-538296 (P2004-538296)
 【国際特許分類】

C 0 8 L 23/04 (2006.01)

B 3 2 B 27/32 (2006.01)

C 0 8 L 101/12 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 23/04

B 3 2 B 27/32 Z

C 0 8 L 101/12

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 8 月 24 日 (2006.8.24)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

(A) 少なくとも 1 つの均一分枝ポリエチレンおよび少なくとも 1 つの不均一分枝ポリエチレンの混合物を、60 から 80 重量パーセント含み、該混合物 (A) は、均一分枝ポリエチレンを 40 から 75 重量パーセント、不均一分枝ポリエチレンを 25 から 60 重量パーセント含み、ならびに、

(B) 最低でも前記混合物 (A) の 2 倍の溶融強度を有する少なくとも 1 つのポリマーを、20 から 40 重量パーセント含む、ポリマー組成物。

【請求項 2】

前記均一分枝ポリエチレンが、エチレンと、少なくとも 1 つの $C_3 \sim C_{20}$ の - オレフィンとのインターポリマーである、請求項 1 の組成物。

【請求項 3】

前記不均一分枝ポリエチレンが、3 から 6 の分子量分布、 M_w / M_n を有する、請求項 1 の組成物。

【請求項 4】

前記混合物 (A) が 10 グラム / 10 分から 30 グラム / 10 分のメルトインデックス、 I_2 (ASTM D - 1238 条件 190 / 2.16 Kg) を有する、請求項 1 の組成物。

【請求項 5】

前記混合物 (A) が 0.88 グラム / 立方センチメートルから 0.92 グラム / 立方センチメートルの密度 (ASTM D - 792) を有する、請求項 1 の組成物。

【請求項 6】

前記混合物 (A) が、示差走査熱量測定曲線上に少なくとも 3 つの溶融ピークを有する、請求項 1 の組成物。

【請求項 7】

前記均一分枝ポリエチレンが 1.5 から 3 の分子量分布、 M_w / M_n を有する、請求項

1 の組成物。

【請求項 8】

前記混合物 (A) が 50 から 60 重量パーセントの均一分枝ポリエチレン、および、40 から 50 重量パーセントの不均一分枝ポリエチレンを含む、請求項 1 の組成物。

【請求項 9】

(B) が、低密度ポリエチレン、エチレン / カルボン酸コポリマー類、エチレン / カルボン酸コポリマー類のアイオノマー類、エチレン酢酸ビニルコポリマー類、高溶融強度ポリプロピレンホモポリマー、および、高溶融強度ポリプロピレンコポリマーからなる群より選択される、請求項 1 の組成物。

【請求項 10】

ポリマー組成物から製造されたフィルム層であり、前記組成物は、

(A) 少なくとも 1 つの均一分枝ポリエチレンおよび少なくとも 1 つの不均一分枝ポリエチレンの混合物を、60 から 80 重量パーセント 含み、該混合物 (A) は、均一分枝ポリエチレンを 40 から 75 重量パーセント、不均一分枝ポリエチレンを 25 から 60 重量パーセント含み、ならびに、

(B) 最低でも前記混合物 (A) の 2 倍の溶融強度を有する少なくとも 1 つのポリマーを、20 から 40 重量パーセント 含む、フィルム層。

【請求項 11】

前記均一分枝ポリエチレンが、エチレンと少なくとも 1 つの $C_3 \sim C_{20}$ の α -オレフィンとのインターポリマーである、請求項 10 のフィルム層。

【請求項 12】

前記不均一分枝ポリエチレンが、3 から 6 の分子量分布、 M_w / M_n を有する、請求項 10 のフィルム層。

【請求項 13】

前記混合物 (A) が 10 グラム / 10 分から 30 グラム / 10 分のメルトインデックス、 I_2 (ASTM D - 1238 条件 190 / 2.16 Kg) を有する、請求項 10 のフィルム層。

【請求項 14】

前記混合物 (A) が 0.88 グラム / 立方センチメートルから 0.92 グラム / 立方センチメートルの密度 (ASTM D - 792) を有する、請求項 10 のフィルム層。

【請求項 15】

前記混合物 (A) が、示差走査熱量測定曲線上に少なくとも 3 つの溶融ピークを有する、請求項 10 のフィルム層。

【請求項 16】

前記均一分枝ポリエチレンが 1.5 から 3 の分子量分布、 M_w / M_n を有する、請求項 10 のフィルム層。

【請求項 17】

前記混合物 (A) が 50 から 60 重量パーセントの均一分枝ポリエチレン、および、40 から 50 重量パーセントの不均一分枝ポリエチレンを含む、請求項 10 のフィルム層。

【請求項 18】

請求項 10 のフィルム層を含む、加工品。

【請求項 19】

成分 (B) が、低密度ポリエチレン、直鎖状低密度ポリエチレン、高密度ポリエチレン、これらのブレンド、ポリプロピレンホモポリマー、ポリプロピレンランダムコポリマー、スチレン / ブタジエンコポリマー、ポリスチレン、エチレン - 酢酸ビニルコポリマー、および、環状オレフィンコポリマーからなる群より選択される少なくとも 1 つのポリマーを含む、請求項 1 の組成物。

【請求項 20】

少なくとも 1 つの他の層をさらに含む、請求項 10 のフィルム層。

【請求項 21】

(B) が、低密度ポリエチレン、エチレン/カルボン酸コポリマー類、エチレン/カルボン酸コポリマー類のアイオノマー類、エチレン酢酸ビニルコポリマー類、高熔融強度ポリプロピレンホモポリマー、および、高熔融強度ポリプロピレンコポリマーからなる群より選択される、請求項 10 のフィルム層。

【請求項 22】

1 つの層が ポリマー組成物 から製造され、前記組成物は、

(A) 少なくとも 1 つの均一分枝ポリエチレンおよび少なくとも 1 つの不均一分枝ポリエチレンの混合物を含み、該混合物 (A) は、均一分枝ポリエチレンを 40 から 75 重量パーセント、不均一分枝ポリエチレンを 25 から 60 重量パーセント含み、ならびに、他の 1 つの層が、

(B) 最低でも前記 (A) の混合物の 2 倍の熔融強度を有する少なくとも 1 つの他のポリマーを含む、少なくとも 2 つの層を含むフィルム。

【請求項 23】

(A) 少なくとも 3 つの熔融ピークを有するエチレン系ポリマーを 60 から 80 重量パーセント、および、

(B) 最低でも (A) の 2 倍の熔融強度を有する少なくとも 1 つのポリマーを 20 から 40 重量パーセント含む、ポリマー組成物。